～　志を高く　三刀屋中　！～

三刀屋中学校だより

令和２年３月
Tel 45-2421

祝卒業･･･第 62 期　卒業生の益々の活躍を祈ります！

在校生代表送辞
２年：岩﨑　翼さん

卒業生代表答辞
３年：景山　大誠さん

９年前の今日、大震災が東日本を襲いました。卒業を控え希望に胸を膨らませた中学生たちを絶望が包んだ瞬間でした。しかし、当時の彼らは、日本各地や世界中からの励ましを受けながら自分たちの力でできる地域の復興と自分の夢に向かって力強く歩み始めました。今、新型コロナウイルス感染症の拡大のため、例年のような形で卒業式を開催できなかったことは残念でなりません。しかし、ピンチをチャンスととらえ前向きに生きてこられた永井隆博士のようにたゆまず進んでいきたいものです。今日は、卒業式ができたことに感謝しつつ、参加した私たち一人一人が心をこめて卒業生の門出を祝いたいと思います。

ことに最上級生としてのこの一年間の活躍は、三刀屋中学校の歴史にあらたな１ページを加えてくれました。

一つ目は「学習への集中」です。学年が上がるにつれて落ち着いて授業に取り組み、先生や友だちの話に耳を傾けて聴くことができるようになりました。男女仲よくグループで協力して活動することや話し合いができました。三年生の温かいクラスの雰囲気が授業から伝わってきました。

二つ目は「生徒会への参画」です。委員会の活動などにも地道に取り組みました。ことにボランティア活動では、夏の中国ソフトボール大会の開会式、どようび英語、赤い羽根共同募金、地域のイベントなどに積極的に参加し、地域を盛り上げてくれました。

９月の体育祭では、リーダーシップをとり自分たちの力で体育祭を創り、競い、楽しむ姿。「熱盛１９５：頂を目指す俺たち物語」のテーマのとおり、若きエネルギーを躍動させました。君たちが最も輝いていた瞬間でした。

また、文化祭は、学習発表では職場体験学習を楽しい劇にして伝えました。生徒会執行部企画では隠れた才能を披露し全校を楽しませてくれました。成長を感じたのは合唱コンクールでした。力強く美しい、中学生らしいハーモニーを聴衆に届けました。最上級生としての意地と思いを背負い「志を高く三刀屋中」を合唱で表現してくれた瞬間でした。

三つ目は「部活動への熱中」です。君たちは青春の若きエネルギーを部活動に注ぎ、練習で汗を流し、市町総体ではバスケットボール部が４年連続優勝、加えて柔道、剣道部も県総体に駒を進めました。野球

部とバレーボール部は後一歩のところで涙をのみました。女子バスケットボールクラブは県総体でベスト８に輝きました。そして柔道個人とソフト部は中国大会のひのき舞台で活躍しました。また、吹奏楽部は県吹奏楽コンクールＡの部で２年連続金賞に輝きました！。美術部は各種コンクールに作品を出品するとともに地域のイベントに出店しました。…君たちの活躍を保護者・地域の皆様が応援してくださいました。また、君たちの活躍が地域を元気づけてくれました。

さて、これから皆さんが生きていく社会は先を見通すことのできない激動の社会です。人類にはこれまでにも増して多くのあらたな課題が出現してくることでしょう。皆さんは、それらの課題に正面から向き合い、叡智を集めて解決していかなくてはいけません。これからも学ぶことを大切に、学んだことを礎に、自分の頭で考え自分で答えを出し挑んでください。生徒会活動で培った態度を、これから出会う世界中の様々な人々とよりよい社会を築く共生・協働の心や態度として大切にしてください。部活動で培った心と体をさらに鍛え、激動する社会で粘り強く活躍できる人となってください。

卒業に際し二つの漢字をはなむけとして贈ります。一つは、挑戦の「挑」（いどむ）です。さまざまな人生の課題に果敢にチャレンジしてください。もう一つは貢献の「献」（ささげる）です。自分の蓄えた力が様々な人々や地域に役に立つよう自分を磨き続けてください。

それでは、卒業生の皆さん、ふるさと雲南市三刀屋町で、そして三刀屋中学校で学んだことを原点として、世界を舞台に「志」を高く持ち、みずからの「夢」の実現に邁進していってください。

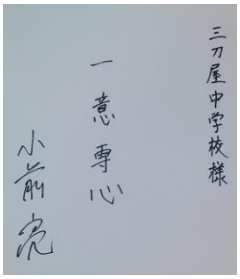
私たちはそれぞれの道で奮闘・活躍する三刀屋中学校第６２期卒業生一人一人にエールを送り続けます。

２年生：「夢授業…本と友達になろう」小説家・小前亮さんから読書の魅力について聞きました

２月 27 日２年生が松江市出身の歴史小説家・小前亮さんから読書の魅力についてお話をうかがいました。

小前さんは読書について、一度の人生の中で読書を通して様々な間接体験をすることができる。TV や漫画と違い唯一の文字情報から想像力を膨らませ自分固有の世界を想像しながら主人公として物語の世界を楽しむことができる。そして、その体験を通して幅広い知識はもちろん、いろいろな人の気持ちがわかる人になれるし、人生で壁にぶつかったとき乗り越える助けにもなると話されました。

小学校のころから読書と歴史が大好きで月に 10 冊以上の本を図書館で借りて読んでいたという小前さん、歴史学者を目指して東京大学へ進学され、中央アジアや遊牧民に興味を持ち研究を進めてこられたのですが、2005 年に就職先の出版社の作家先生の勧めもあり作家としてデビュー。以来、精力的に執筆活動に取り組まれ現在 48 巻の本を出版されています。昨年度の中学生の夏休み読書感想文コンクールの本となった伊能忠敬の蝦夷地探検を書いたノンフィクション『星の旅人』では、学問とは何か、江戸時代の身分制社会においてその枠を飛び越えた活躍した人々をテーマに、ワクワク感満載で書いたことなど作家として作品に込めた思いも話していただきました。そして、最後に生徒達に学問とは「人が知らないことを知りたい、道なき道を行くこと」また、アフリカの歴史学者の言葉を引用し、歴史は「常に中央からではなく辺境で力をつけた人々によって塗り替えられる」ことをエールとしていただきました。



令和元年度学校評価について報告します

生徒向け学校評価（集計）

NO	項　　目	全学年集計		1年生		2年生		3年生	
		A+B(%)	評価	A+B(%)	評価	A+B(%)	評価	A+B(%)	評価
1	学校の物を大切に使い、きちんと後片づけまでできた。	96%	◎	91%	◎	100%	◎	98%	◎
2	制服や頭髪などの身だしなみをきちんとできた。	96%	◎	89%	○	100%	◎	98%	◎
3	いじめをしない学校生活を過ごした。(新規)	94%	◎	85%	○	98%	◎	98%	◎
4	時間を守って登下校できた。	93%	◎	85%	○	98%	◎	96%	◎
5	時や場に応じたあいさつができた。	92%	◎	87%	○	92%	◎	98%	◎
6	日直や給食などの当番活動がきちんとできた。	92%	◎	89%	○	98%	◎	90%	◎
7	時や場に応じた言葉づかいができた。	92%	◎	87%	○	90%	◎	98%	◎
8	みんなのことを考え、協力して活動ができた。	91%	◎	85%	○	94%	◎	94%	◎
9	チャイムとともに着席し、学習の準備ができた。	90%	◎	89%	○	88%	○	94%	◎
10	班や係活動などの学級での活動に意欲的に取り組んだ。	90%	◎	85%	○	94%	◎	92%	◎
11	部活動等の課外活動に熱心に取り組んだ。	89%	○	84%	○	96%	◎	87%	○
12	生徒会活動に意欲的に取り組んだ。	87%	○	80%	○	92%	◎	90%	◎
13	掃除場所への移動を早くし、時間いっぱい熱心に取り組んだ。	87%	○	82%	○	88%	○	90%	◎
14	家庭での学習を毎日きちんとできた。	85%	○	78%	○	88%	○	90%	◎
15	机やロッカーの整理整頓ができた。	84%	○	69%	△	90%	◎	94%	◎
16	課題等の提出物が期限までに提出でき、忘れ物をしなかった。	77%	○	58%	△	86%	○	88%	○
17	生活ノートをきちんと記入し、ほぼ毎日提出できた。	77%	○	56%	△	96%	◎	81%	○
18	学習や生活面で困っていることなどを先生方や友だちに相談できた。	73%	○	67%	△	64%	△	88%	○
19	人の気持ちを考えたり思いやって行動できたりした。	73%	○	64%	△	58%	△	98%	◎
20	学校の進路学習をもとに、自分の将来について考えることができた。	73%	○	56%	△	70%	○	92%	◎
21	進んで発表しようとし、意欲をもって授業に参加できた。	71%	○	65%	△	62%	△	85%	○
22	進んで学校図書館を利用したり読書をしたりするようになった。	52%	△	42%	×	58%	△	56%	△
	平均	84%		76%		86%		91%	

保護者向け学校評価（集計）

NO	項　　目	全学年集計		1年生		2年生		3年生	
		A+B(%)	評価	A+B(%)	評価	A+B(%)	評価	A+B(%)	評価
1	お子さんは制服や頭髪などの身だしなみがきちんとしている。	95%	◎	97%	◎	96%	◎	93%	◎
2	お子さんは交通ルールやマナーを守り、健康で安全な生活を送っている。	92%	◎	91%	◎	96%	◎	90%	◎
3	お子さんは学校生活において大切にしてもらっている。	90%	○	84%	○	91%	◎	92%	◎
4	お子さんは時や場に応じた言葉遣いができている。	87%	○	82%	○	82%	○	98%	◎
5	お子さんは明るくいきいきと学校生活を送っている。	87%	○	91%	◎	89%	○	83%	○
6	学校は「たより」や「ホームページ」等で学校の様子を分かりやすく伝えている。	86%	○	64%	△	93%	◎	98%	◎
7	学校の様々な行事等はバランスの取れた人間形成に役立っている。	85%	○	82%	○	91%	◎	79%	○
8	学校はお子さんについての相談や連絡等に適切に対応している。	84%	○	88%	○	93%	◎	70%	○
9	学校には部活動等に熱中して取り組む生徒が多い。	81%	○	76%	○	89%	○	78%	○
10	お子さんは学校での様子や出来事等をよく話してくれる。	79%	○	78%	○	82%	○	75%	○
11	学校には学校行事や学級活動に意欲的に取り組む生徒が多い。	78%	○	69%	△	82%	○	80%	○
12	教職員は、わが子の悩みなどについて相談に応じてくれている。	75%	○	76%	○	82%	○	68%	△
13	お子さんは気持ちのよい挨拶をしている。	71%	○	67%	△	69%	△	78%	○
14	学校は学年に応じて、進路についての情報をきちんと提供してくれている。	71%	○	71%	○	76%	○	65%	△
15	学校は全教育活動を通じて、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	70%	○	61%	△	73%	○	75%	○
16	授業公開日や子どもの話からすると、学校では分かりやすい授業がなされている。	70%	○	73%	○	78%	○	60%	△
17	教材費等について、経済的な負担を感じない。	70%	△	80%	○	65%	△	67%	△
18	PTAの諸活動を通して、学校との連携が図れている。	69%	△	76%	○	67%	△	68%	△
19	学校は保護者や地域の意見を聞く機会を設けている。	64%	△	67%	△	62%	△	65%	△
20	お子さんは家庭学習をきちんと行っている。	64%	△	52%	△	76%	○	63%	△
21	お子さんは地域の行事等に積極的に参加している。	63%	△	70%	△	60%	△	60%	△
22	お子さんは家庭で以前(～1年前)よりも読書をするようになっている。	30%	×	30%	×	40%	×	18%	×
23	お子さんはテレビやゲーム、インターネット等への関わりが少ない。	16%	×	15%	×	16%	×	18%	×
	平均	73%		71%		76%		71%	

（回答選択肢：A：そう思う　　B：ややそう思う　　C:あまり思わない　　D:思わない）
【評価　…◎：90%以上　○：70～89%　△：50～69%　×：49%以下】

◆生徒の評価より

○学校での生活はおおむねよい傾向にあります。(質問：1～13)

△家庭での計画的な学習や課題の提出に課題のある生徒がいます。(14、15、16)

▲改善するべく努力する点は、人の気持ちを考えて行動すること。(19) 1，2年の時から進路学習を通して、自分の進路について考えておくこと。(20) 授業中意欲的に発表すること。(21) 図書館のさらなる利用と読書の推進 (22) です。

◆保護者の評価より

○生徒と同じく、学校での生活はおおむねよい評価となっています。（１～5）

▲保護者から見た生徒が改善・努力すべき点は、家庭学習（20）地域行事への参加（21）TV ゲームやインターネットの時間を減らし読書を推進する（22、23）･･･家庭での環境整備（ルールづくり）や声がけをお願いします。

▲学校として改善・努力を求められている点は、教材などの精選（経済的負担の軽減）と有効活用（17）とＰＴＡや家庭との連携の強化と双方向のコミュニケーションを心がけること（18、19）でした。

PTA臨時会合を開催しました

３月６日に、新型コロナウイルス感染症拡大にともなう臨時休業（３月３日～３月 17 日）となったためのＰＴＡ臨時会合を開催し、休業中の生徒支援について意見交換を行いました。ＰＴＡ役員の保護者の方も今回の措置は止むを得ないことだと受け止めておられる一方で、休業に伴う悩みや困りごと、願いなどについてもお話いただき、とても前向きで有意義な意見交換となりました。（出た意見は以下のとおりです。）

① 説明を受けた１・２年生の未履修事項（時間数は合計すると１・２年ともに２０時間程度）については、保護者全体に伝えてほしい。

② インターネットを利用した学習（いーぼーど）：プリントやテキストの学習課題に加えてできる学習について…保護者の通信環境による負担も含めて、保護者全体に周知してほしい。（学校メール配信で：個々の生徒に ID、パスワードを付与していること、利用料金は無料だが通信料金がかることなどの情報提供）

③ 生徒の生活が乱れることが心配（起床・就寝時刻：昼夜逆転、食事時間の乱れ、運動不足、TV・インターネット・SNS の時間が長くなる、ストレス・・・）：この点こそ…学校に任せるのではなく、家庭の責任である：保護者の頑張りどころではないか。

④ 長期の臨時休業なので読書のチャンスでもある…図書館の貸し出しを休業中もお願いしたい。

⑤ 学校からの情報発信をお願いしたい。（何か対応に変化があったとき、ない時でも週に１回程度は）

⑥ 松江市・出雲市の小中学生は学習も部活動も実施している…大きなビハインドを感じている。

⑦ いつ、この状況が解除されるのかが一番の不安。（このままでは新学期は？？？）

☆各種コンクールなど入賞者紹介（敬称略）

■雲南市英語コンテスト３年連続金賞（３年）

飯塚彩音、景山　桜、片寄七菜、高橋和希、多賀天真、温湯愛美

■県書き初めコンクール･･･金賞

３年：堀江日呼　　２年：稲田勇斗　　１年：秋山穂波、松林花恋

■校内漢字テスト　９回連続満点

３年：岩﨑大地、中村風花　　２年：岩﨑　翼、落合創也、清水萌花、森山礼菜

１年：柿木ひなた、木村里奈、鈴木彩水、山根夢架

令和２年度から変更します･･･さまざまな角度から検討しました結果、以下の３点を見直しました。

★部活動の見直し･･･柔道部：社会体育に移行します。中体連の大会については出場できます。（顧問派遣）

★女子の制服の見直し･･･スカートとスラックスを選択できるようにします。（季節ごとに変えてもよい）

★家庭訪問の見直し･･･廃止し、学級懇談（PTA総会時）と保護者面談を実施します。（1学期：1・3 年生、2 学期：2・3年生）

お詫び：２月号「校長コラム」平成元年の生徒数６３６名（誤）→４３６名（正）